

1. 内政

- ・3日、レアンカ首相は、就任後初の閣議において効率的な政府の運営の必要性を強調し、EUとの交渉進展のため各閣僚の協働を呼びかけ。同日、フィラト自由民主党党首は、同党は今後共産党と協同で決議を採択することはない旨発言。
- ・4日、憲法裁判所は、2012年7月12日に採択された鎌と槌の共産主義的シンボルの国内における使用の禁止に関する法律及び共産主義体制非難に関する法律は違憲である旨の判断を宣告。ヴォローニン共産党党首は、同党はレアンカ新内閣及び新与党連合結成の正当性に関し憲法裁判所に解釈請求を行う意向である旨発言。
- ・4日、社会党は、5月30日のレアンカ新内閣に対する信任投票において賛成票を投じたアブラムチウク議員の除名を決定。

▼世論調査

[IMAS]

- ・次の日曜日に議会選挙が実施された場合の政党支持率
共産党:39.0%、自由民主党:12.6%、民主党:8.6%、自由党:7.5% 等(投票の意思なし:6.2%、態度未定:21.5%)
- ・調査は5月10日から26日にかけて1,143名の成人を対象に実施。

2. 経済

▼マクロ経済

- ・7日、モルドバ国立銀行は、2013年第1四半期における海外からモルドバへの送金額が対前年同期比14.4%増の4億5,566万ドルと発表。また、同行によると、送金額の大きい国はロシア及びイタリア、送金額はモルドバのGDPの20～30%と説明。

▼IMF

- ・6日、ネグルトツァ財務相は、IMFミッションが6月19日～26日の期間、キシナウを訪問する予定と発言。

▼その他

- ・7日、プラトン観光庁長官は、2012年にモルドバを訪問した外国人観光客が1万3,000人、モルドバから海外を訪問したモルドバ人観光客が14万7,000人と発表。

3. 外政

- ・4日、レアンカ首相は、EUとの査証免除に関し2014年秋に合意に達するであろう旨発言。
- ・4日、2013年下半年期EU議長国イタリアのリンケビチュウ

ス外相は、11月のビリニウスでの東方パートナーシップ首脳会合においてモルドバ、グルジア及びアルメニアとの連合協定を部分的なりとも仮署名したい意向である旨発言。

- ・4日、ボンタ・ルーマニア首相は、40名の地権者がウングニ・ヤシ間のガスパイプラインの敷設に反対している旨公表し、土地の収用を容易にするための法整備を行う意向である旨発言。

- ・5日、コルマン議会議長は、シュルツ欧州議会議長の招きにより18日にブリュッセルを訪問する意向である旨表明し、一方、ロシアもモルドバの重要なパートナーである旨発言。

▼世論調査

[IMAS]

- ・次の日曜日にモルドバのEU加盟の是非を問う国民投票が実施された場合の回答
賛成:51%、反対:21%
- ・次の日曜日にモルドバの関税同盟加盟の是非を問う国民投票が実施された場合の回答
賛成:50%、反対:22%
- ・2013年秋にビリニウスで開催される東方パートナーシップ首脳会合に関して聞いたことがある:31%、ない:61%
- ・調査は5月10日から26日にかけて1,143名の成人を対象に実施。

4. 沿ドニエストル

- ・4日、ファン＝ロンバイ欧州理事会議長は、エカテリンブルグで開催されたEU・ロシア首脳会合後の記者会見においてEUとロシアは沿ドニエストル問題解決に向け協力することで合意した旨発言。

- ・5日、シェフチューク「大統領」は、モスクワを訪問し、ロゴジン副首相兼沿ドニエストル担当露大統領特使と会談。双方は、沿ドニエストル地域の社会・経済及び同地域に居住するロシア国民の問題等に関し協議。

- ・7日、シューベルEU代表部大使は、ティラスポリで開催された第3回沿ドニエストル投資フォーラムに出席し、モルドバとEU間のDCFTAは沿ドニエストルの経済に新たな可能性をもたらすであろう旨発言。

5. 防衛

- ・5日、マリヌツァ国防相は、ミンスクで開催された第64回CIS国防相評議会にオブザーバー参加、国防省間及び軍事分野での相互協力の発展等について議論。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。

(了)